◎２０２２年度前期に掲げた目標に対しての自己評価とこれからの課題をお知らせいたします。

	①生活	②人とのかかわり	③興味・関心
さくら組	①最後まで話を聞く ②決められた時間を守って行動する ⇒小学校へ入学して子どもたちが困り感ないように立てた目標でしたが、出来たことを褒めることにより自信もつき一人ひとりが少しずつ意識しながら、「話を聞く」「時間を守る」ことが出来るようになってきた引き続き指導していきたい。	①自ら進んで挨拶をする。 ⇒「挨拶」初めのうちは保育者側からすることが多かったですが、日を重ねるごとに「先生おはよ～」と子どもたちから元気に挨拶してくれる場面が増えてきた。挨拶をする大切さ、気持ち良さを少しずつ感じてくれているように思う。 ②相手の気持ちを考えて、行動したり発言したりする。 ⇒友達同士でトラブルになった時などは、仲立ちしお互いの気持ちを引き出して伝え合えるよう関わりを持つことで、自分たちで解決しようとする姿や困っている人に優しくしようとする姿などが見られるようになってきた。	①平仮名や数字に興味を持ち正しい書き順で書く。 ⇒平仮名や数字を書くことに興味を持ち、友達や保育者との手紙のやりとりが多くみられるようになった。また、平仮名の練習では一人ひとり丁寧に書いて覚え、それを褒められることで自信に繋がっている。引き続き書こうとする気持ちを大切にしながら、その都度正しい書き順が身につくよう指導していきたい。
きく組	①姿勢を正し話を最後まで聞く ⇒静かになるまで待ち、話を聞けるような環境づくりを行うことで、子どで同士で声を掛け合い保育士の話を聞こうとする姿が見られるようになった。	①自分の言葉で相手に気持ちを伝える（どうつたえていいか考える） ⇒友だちとの関わりの中で自分の気持ちを言葉で伝えることが難しく、トラブルになった時は保育士が仲立ちに入り、お互いの気持ちを聞いて言葉を補足したり助言したりするこでお互いの気持ちが通じ合い問題解決へと発展していった。	①文字や数に興味を持ち読めるようになる。 ⇒時計を取り入れて活動時間を決めたり、生活の中で数に触れることで数字を読んだり書いたりできるようになった。 文字はお当番活動を通してお友達の名前が書いてある出席シールや手紙を配る手伝いをしてもらうことで文字を読めるようになった。また、ゆっくりだが絵本を読む姿も見られるようになった。
ばら組	①食事のマナー（皿を持って食べる・箸を正しく持つ・椅子に正しく座るなど）守りながら楽しく食べる。 ⇒その都度声をかけることで「先生こう？」と尋ねたり「○○ちゃん、前を向いて」など友だち同士で教え合う姿が見られるようになった。引き続き正しい食事のマナーが身につくよう取り組み、またお箸の持ち方は遊びの中に取り入れて習得できるようにしていきたい。 ②着替えなど身の回りのことを自分でする。 ⇒自分でやろうとする姿を認め、出来た所は褒めることによって少しずつ	①保育士の顔を見て、話を聞く。 ⇒手あそびなどの導入で集中を保育士に向けることで少しずつ顔が見れるようになってきた。今では保育士が子どもたちの前に立つと、背筋をピンと伸ばして「先生みて！」とアピールしてくれる。次のステップとして最後まで話を聞けように繋げていきたい。 ②したいこと、してほしいことなど保育士や友だちに言葉で伝える。 ⇒少しずつ言葉で伝えられるようになってきた反面、言葉が足りずトラブルになることもある。引き続き保育士が仲立ちして言葉の使い方を知らせていきたい。	①指先を使う活動を楽しむ。（はさみを使った製作や粘土など） ⇒粘土遊びでは創造力や集中力が芽生え始めてきていていろんな形を作ったり、また作った物で友だち同士遊ぶ姿がみられるようになった。はさみも一発切りから連続切りが出来るようになり、製作の幅も広がってきた。引き続きいろんな素材に触れながら製作することへ意欲・関心を育てていきたい。

すみれ組	①フォークやスプーンを正しく握り、左手は食器を持ち、良い姿勢で食べる。 ⇒フォークやスプーンは親指・人差し指・中指の３本で正しく握れるよう声をかけたり手を添えながら教えることで、正しい握り方が身につき「先生こう？」「てっぽうバーンだよねと」確認しながら取り組めるようになった。また姿勢や食器に手を添えることも保育士がその都度声かけを行うことで子どもたちも正そうとする姿が見られた。ご家庭でも声かけなどをしてもらい、食事のマナーを身につけていただけるようお願いしたい。	①挨拶や返事、自分の思いや要求などを言葉で伝え、やりとりを楽しむ。 ⇒保育士が率先して挨拶することにより、名前を呼ばれると元気な声で返事をしたり皆で声を揃えて挨拶ができるようになった。また、自分の思いや経験したことなどを保育士に伝える姿も多く見られるようになった。これからも保育士や友だちとの関わりや絵本の読み聞かせ通して発語の促進や伝えることの満足感を感じられるように丁寧に関わっていきたい。ご家庭でも会話のやりとりをしたり絵本の読み聞かせなどを通して情緒の安定に繋げていってもらいたい。	①花や虫など身近な自然に興味を持ったり水・砂・粘土など指先を使って感触遊びを楽しむ。 ⇒戸外遊びや季節の歌をうたったり製作を取り組んだりする中で、花や虫など様々な自然に興味関心を持って関わる姿が見られた。また、指先を使う活動をたくさん取り入れたことにより水・砂・粘土など感触を楽しむことに夢中になっていた。これからも指先の発達を促す遊びを大いに取り入れて楽しめるようにしていきたい。
ちゅーりっぷ組	①トイレやオマルで排尿できるようになる。 ⇒一人ひとりの排尿間隔を把握してトイレに誘い、出来た時は褒めて自信に繋げていった。みんなトイレで排尿できるようになり今はパンツで過ごしている。また身振りや言葉で尿意を知らせてくれるようにもなってきた。これからは排尿間隔を伸ばしていき、安定できるようにしていきたいと思いますので、ご家庭の協力をお願いしたいと思います。 ②椅子に座って待つことが出来るようになる。 ⇒活発に動きまわりなかなか座って待つことができなかったので、席の配置を考えたり保育士が側について座り声かけをしたり集中できそうな活動を取り入れたりすることで少しずつ椅子に座って待つことができるようになってきた。	①保育者や友だちと会話やふれあい遊びを楽しむ。 ⇒絵本やクレヨン、ボールなどを取り入れて色や動物、物などの名前を子どもたちに問いかけたり、遊びを通してやりとりを楽しんだりすることで発語が増え、会話を楽しむ姿が見られるようになってきた。 また、みんなでできる手遊びやダンスを取り入れたり季節の歌をうたったりすることで、保育者の真似をして体全体で表現して楽しんでいる。	①指先を使う遊びを楽しむ。 ⇒シール貼りやひも通しなどの遊びを取り入れたり製作の中にも指の力を意識した活動を取り入れたりすることで子どもたちは興味を持って楽しく取り組む姿が見られた。また、出来なくてあきらめてしまう子には介助したりして一緒に遊びできる喜びを感じられるようにした。 ②いろいろな玩具を使い水遊びを楽しむ。 ⇒スポンジやジョーロ、シャワーなど水の感触が楽しめるような玩具を用意し、水に触れさせることで水の感触を思いきり楽しんでいた。
たんぽぽ組	①手づかみやスプーンを使って自分で食べようとする。 ⇒手づかみで食べやすい食材にすることで喜んで食べる姿が見られ、食欲が増してきた。またスプーン持ちを介助することでフォークやスプーンを使って食べる子が出てきて成長がうかがえる。 ②ハイハイ・伝え歩き・歩行など一人ひとりにあったあそびを楽しむ ⇒保育士や友だちと遊ぶ中で「おいでおいで」と声掛けしたり段差のある用具や布団、ござを利用して登ったり降りたりすることで運動機能の発達が見られた。今後も１人ひとりの成長に合わせ体作りができるよう促していきたい。	①「ちょうだい」「ありがとう」「バイバイ」などを身振り手振りで伝える。 ⇒生活の中での場面に応じて保育者が関わったことにより、自分の思いや伝えたいことを身振りや手振りで伝えられる子が増えてきた。今後もしぐさから言葉への習得に繋げられるよう働きかけていきたい ②ふれあい遊びや言葉のやりとりを楽しむ。 ⇒1対１のスキンシップを多く持ち、その中で言葉のやりとりを行うことで、表情が豊かになったり言葉を少しずつ発する子も出てきた。	①製作を通して絵の具の感触を楽しむ。 ⇒手のひらを使った製作を取り入れたことにより、絵の具を握りしめヌルヌル感を味わっていた。これからもいろいろな素材に触れ、手指への感触を味あわせていきたい。 ②絵本や玩具などに興味や関心をもってあそぶ。 ⇒子どもたちが楽しめるような絵本や玩具を用意することで興味をもってあそぶことができた。特に絵本は身近な動物や果物など興味や関心を持ち、集中して見ることができた。今後もいろいろな内容の絵本を楽しみに見られるよう選んでいきたい。

※これからも家庭と園で連携し合ってお子様の成長に繋げ、一緒に喜び合いましょう。